

## 自転車競技部 大阪総体 ロードの部結果報告

大会日 令和5年9月2日(土)

会場：舞洲緑地 空の広場

参加者 3年生 塚本・橋本・渡辺

2年生 岩本・倉地

1年生 大谷・前園

秋の舞洲大会は、1年生が中心に出場する、男子高校生の部と2～3年生が出場するJCF登録男子高校生の部があり、本校からはJCF登録登録高校生の部に5名、高校生（1年生の部）に2名の選手が出場しました。

大阪総体の得点は、JCF登録高校生の部の結果が反映されます。

### 大会結果

男子高校生の部（1年生中心）

参加者 17名

大谷 10位

0.85km×15周=12.8km

1年生の大谷が出場。前園は膝痛のため欠場。大谷はレース序盤から積極的に前に出る展開で、5周目には12名程度の先頭集団が形成される。大谷は集団を引っ張る形で前に出るが逃げは決まらず残り2周で先頭集団10名。最終周回を知らせる鐘を聞きながら先頭でS/Fラインを通過。表彰台に上るべく更に力を入れてペダルを踏む大谷。

しかし、第4コーナ（最終コーナー）を2番手で曲がっていたところで、痛恨の落車、表彰台が見えていただけに残念だが新人大会でも期待が持てる走りでした。

JCF登録男子高校生の部（大阪総体ロードの部）

参加者 40名

0.85km×30周=25.6km

2～3年生5名が出場。今年は、参加40名中、他府県からの参加者を含め全国大会入賞者が8名もいるハイレベルな戦いとなりました。レースは序盤から集団のスピードは速く、スピードのない選手が次々とふるい落とされていく。6周目には倉地が集団から遅れだすが、本校の他の選手は集団内で余裕をもって走っている。

レースは中盤に入るも常に誰かが逃げる展開で集団のスピードは落ちない。本校の塚本も2名で逃げを打つが4周を逃げたところで集団が吸収。ここで、橋本も逃げるが、すぐに集団にキャッチされる。その後も逃げようとする選手が次々と現れるが、いずれの逃げも成功することなく、残り3周回あたりから集団はゴールスプリントに備えた位置取り争いとなる。集団は26名

鐘が鳴らされ残り1周回。橋本、塚本は前方、岩本、渡辺は中段に位置して残り500m。早めに仕掛けた選手を追って、橋本3番手、塚本5番手で第3コーナー第4コーナを抜けたところで橋本がTOP、塚本が4番手に上がる。しかし、ここで橋本にアクシデント、コーナーの出口でペダルを搔いて落車しかけて万事休す。橋本は態勢を立て直して踏みなおすも4位で3連覇を逸した。塚本はゴールスプリントで3位、岩本14位、渡辺は17位という結果で今大会を終えた。

大阪総体は他府県の選手を抜いて順位を付けるため、塚本2位、橋本3位となります。



大阪総体トラックの部は、9月23・24日岸和田競輪場にて